

「これって若ノ嶋が完全に差されてるじゃない。」と鹿賀乃戸親方。「これがあるんだよ。しよっちゅうあるよ！」と磯ノ海親方。若ノ嶋はこの受けの体勢からの粘りの相撲があるからこそ今があるのだろう。

三日目は自己最高位の前頭二枚目上がった。きた同門の伊達の富士との初顔。場所前に伊達の富士とは十分に稽古をしていて唯一安心して取れる相手で、難なく寄り切った。初日から3連勝とした。

若ノ嶋同様、先場所途中休場の春ノ翔は体重を増やして場所に臨んできた。初日が照の王、二日目が小結白閃光、三日目が久し振りに関脇に返り咲いた鬼ヶ嶽との3日連続で元大関との対戦となった。しかし、かつての素早い出足からの寄り身が戻り、3人を圧倒する相撲で3連勝を飾った。「長い相撲になると駄目だからね。」と速攻相撲での3連勝に桐壺親方も満足げだった。

初日は伊達の富士、二日目は照の王に勝つてご機嫌だったが、三日目に苦手の白閃光に敗れて意気消沈。しかし、2勝1敗でまずまずのスタート。下位との取組も大事だが、好調の4人の横綱大関戦が昇進の鍵になりそう。



春ノ翔○(寄り切り)●白閃光



鬼ヶ嶽●(寄り切り)○春ノ翔

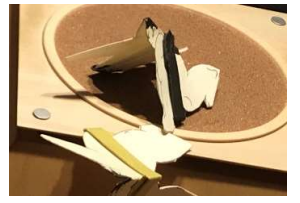


春ノ翔○(寄り切り)●照の王



若ノ嶋○(寄り切り)●伊達富

千代鈴が横綱に昇進して一人大関となった。大関。先場所は千代鈴と優勝争いをして8勝を上げ、場所前はさらに上を目指そうと稽古に励んできた。初日、二日目は四季嶋、若巨と前頭上位の2人を上手くさばいて寄り切った。



四季嶋●(寄り切り)○大神楽

三日目は、先場所上手投げで敗れている綱乃花との対戦だったが、廻りながら左を差すなり寄り切って3連勝とした。相手と相撲を取りながら自分の形に持って行くという巧者ぶりを発揮して、四日目に降がらなうみだ。



大神楽○(寄り切り)●綱乃花



大神楽○(寄り切り)●若巨

「鹿富士は今場所何番勝てば大関かなあ？」と尋ねるのは鹿賀乃戸親方。大関枠が一つ空き、是が非でも鹿富士を大関にと初日を楽しんでみさせていた鹿賀乃戸親方。

初日は伊達の富士、二日目は照の王に勝つてご機嫌だったが、三日目に苦手の白閃光に



鹿富士○(寄り切り)●照の王



鹿富士○(寄り切り)●伊達富

大関から関脇に陥落した第136回以来、22場所振りに関脇に復帰した鬼ヶ嶽。一時は十両まで落ちて引退かと囁かれたが、そこから見事に復活。先場所は小結で8番勝って、鹿富士とともに大関候補に名乗りをあげた。



照の王●(寄り切り)○鬼ヶ嶽



佐賀海●(押し倒し)○鬼ヶ嶽

入幕3場所目で早くも小結に昇進した友砂親方の秘蔵っ子の綱乃花。初めて上位すべてと対戦する場所で、どんな相撲をみせるか注目されたが、若ノ嶋、千代鈴、大神楽に完敗して3連敗となった。

「今場所は綱乃花にとって経験の場所！」と友砂親方が語るように、上位の強さをまずは肌で感じる場所との位置づけのようだ。しかし、残り8日もあり、綱乃花らしい相撲を期待したい。(錦風)

十両は早くも混戦模様

今場所は上位に新入幕を目指す真田丸、桃乃洲、櫻吹雪、それに再入幕を狙う黒雲海、超刃、九十九勢による争いが繰り広げられて行きそう。

そんな中、初日から3連勝としたのは若雲山と虎ノ國。早くも全勝はこの2人だけとなり、今場所は混戦模様が予想される。この中から抜け出すのは誰になるのか、目まぐるしい展開となりそう。

若雲山が先場所東筆頭から番付を下けたが、再度の入幕のチャンスをつかむべく幸先よく3連勝発進とした。先場所の悔しさを晴らした。先場所は鹿ノ富士に



若雲山○(寄り切り)●西勢里

胸を借りて猛稽古に励んだようで、その成果が出た格好だ。代わって東筆頭に座った黒雲海とともにダブルでの昇進に繋げたいところ。先場所途中休場の虎ノ國は、これまで相手が良くなれなく引く相撲が見られていたが、この3日間は左を差し引くこともなくなり見違えるような相撲を取っている。番付も下にあって一枚となつて場所前から残留は厳しいのではと思われたが、この相撲を見る限り期待を持ってそう感じた。桐壺親方の心配も吹き飛ばそう。とはいえ、まだまだ序盤油断はならない。



虎ノ國○(押し倒し)●鶴乃里

先場所の大敗で十両に陥落した超刃は初日黒星で心配されたが、二、三日目と連勝し磯ノ海親方を安心させた。三日目で全勝は2人になったことにより、やはり元関脇の実力からして優勝争いでは頭一つ抜けていると評判だ。それだけにここは一場所幕内に戻る可能性は高そう。

先場所惜しくも星を伸ばせなかつた念願の入幕が叶わなかつた住之江部屋の櫻吹雪。今場所こそはと意気込みを見せたが1勝2敗と黒星発進。四日目の取組から巻き返していききたいところだ。



櫻吹雪○(押し出し)●日向藤

また、新調された鮮やかな橙色の廻しを披露し「中々いい色で映えてるねえ」と親方衆からも好評価の新作は鶴乃里。しかしながら3連敗と緊張から自分の相撲が取れなかったが、まずは早く初日を上げたいところだ。

一方、胡桃色の廻しで登場の島内は、二日目に先場所優勝の御嶽灘に敗れたが2勝1敗とまずまずのスタート。もう一人の新十両の椿富士はこちらも一際目を引くコバルトブルーの廻し。初日は英風の寄りに屈したもののこちらも2勝1敗で上々の出だした。(山里)